

Title	一ツノ推測
Author(s)	北川, 敏男
Citation	全国紙上数学談話会. 2 p.13-p.13
Issue Date	1934-07-16
oaire:version	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/73842
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

北川敏男 (阪大)

今 函数 $u = f(u_1, u_2, \dots, u_n)$ が, $u_i \in \Omega_i$ ($i=1, 2, \dots, n$) かつ
 $(\Omega_1, \Omega_2, \dots, \Omega_n) = \tau$ 定義され, $u_1^0 \in \Omega_1, \dots, u_{i-1}^0 \in \Omega_{i-1}, u_{i+1}^0 \in \Omega_{i+1}, \dots, u_n^0 \in \Omega_n$ とし限り 任意, $(u_1^0, u_2^0, \dots, u_{i-1}^0, u_{i+1}^0, \dots, u_n^0) = \tau$ かつ
 $f(u_1^0, \dots, u_{i-1}^0, u_i, u_{i+1}^0, \dots, u_n^0) = u_i$ 函数 f は可逆的 =
 一意連続なる寫像 (つまり topological representation) を与へるト
 シマス, (茲に $i=1, 2, \dots, n$)

2) 假定モトテ $f(u_1, u_2, \dots, u_n) = (u_1, u_2, \dots, u_n)$ 函数
 トテ 連続ナル。—— コノ推測ヲ行ハシテ。筆者, 希望ヲナルハ
 各 D_i が m 次元 euclidean space, 領域デ'アリ。各 u_i , u が m
 次元 vector テ'アル場合 テ'アルガ, モ'ト 条件ノモ'トニテモ
 成立スル_事 思ハマス。證明ヲ思ヒワカル御方, 本誌ニ御寄稿ア
 シテ 御願ヒマス。

尚, 前號「南雲氏, 或ル種ノ組合ニ函数方程式ニ就テ」ノ
 題ニ就テ コノ推測ガ 関係ヲ有スル事モ, 茲ニ一言ニテ置キテ
 思ヒマス。

(七月十六日)